



8区 高橋 俊希選手



9区 佐藤ちさと選手



10区 飯畑 友貴選手



11区 佐藤ちひろ選手



12区 加藤 輝彦選手



13区 森永 伸一監督



14区 菅野 俊幸選手



15区 佐藤ちさき選手



◀今大会出場選手



16区 大内龍太郎主将

大会終了後、ゴールとなった福島県庁前で解団式が行われ、森永伸一監督は「各選手とも自分の役割と責任を果たしてくれたと思います。また、選手が点と点でバラバラに避難しながらも協力してくれたことに感謝しています」と大会を振り返りました。

また、アンカーとして16区を走った大内龍太郎選手は、「前々からアンカーを走ってみたいとは思っていましたが、とてもきついコースでした。沿道から贈られる応援が力になりました」と出場の感想を話しました。

飯舘村チームが力走見せる!

11/20 第23回ふくしま駅伝に飯舘村チームが出場



11月20日、「第23回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会」(通称・ふくしま駅伝)が行われ、白河市総合運動公園陸上競技場をスタートし福島県庁前をゴールとする96.5キロメートル、16区間のコースで県内49市町村がたすきをつなぎました。

今年の飯舘村チームは、避難により選手の確保が難しかったものの、オープン参加として後半8区からの出場となりました。

オープン参加のため、チームとしての記録を残すことはできませんでしたが、選手たちは沿道からの温かい応援の中、16区で村の部の区間賞を獲得した大内龍太郎選手をはじめ、力走を見せてくれました。

第23回ふくしま駅伝飯舘村チームの記録

区 間 ()距離	選 手 (○は村の部区間賞)	記 録	区間成績
8区 (5.4km)	高 橋 俊 希 (飯舘中3年)	19' 04"	33
9区 (3.0km)	佐 藤 ちさと (西那須野中1年)	12' 48"	38
10区 (9.2km)	飯 畑 友 貴 (南相馬消防署飯舘分署)	35' 09"	49
11区 (3.9km)	佐 藤 ちひろ (福島高専1年)	17' 06"	42
12区 (7.0km)	加 藤 輝 彦 (川俣精機)	26' 16"	42
13区 (4.8km)	森 永 伸 一 (飯舘村教育委員会)	16' 20"	13
14区 (5.7km)	菅 野 俊 幸 (飯舘中3年)	21' 43"	39
15区 (3.4km)	佐 藤 ちさき (西那須野中2年)	13' 33"	29
16区 (8.4km)	○大 内 龍太郎 (飯舘AC)	26' 32"	9

サロン やってま〜す

村では村民の交流の場として、各仮設住宅や公営宿舎の集会所でサロンを実施しています。サロンとは、誰でも自由に参加できる参加者同士の交流の場で、11月末現在、11の施設で定期的に開かれています。内容は参加者で決めており、お茶のみ会や健康相談、運動などを行っています。顔なじみの方たちとお茶を飲みながら話をするだけでも、気持ちがほっとするものです。借り上げ住宅等にお住まいの方等もぜひ遊びにきてください。今後新たな場所で開催する場合は、随時広報等で紹介していきます。



◀サロンのようす
(写真はNTT大森おしゃべり会)



現在開催中のサロン一覧 (11月末現在)

名 称	場 所	日 時
お茶べり会	福島市旧飯野小学校応急仮設住宅集会所	開催日不定期
お茶べり会	福島市旧明治小学校応急仮設住宅談話室	開催日不定期
いきいきサロン	福島市松川工業団地第一応急仮設住宅談話室	月1回随時開催
お茶のみ会&若返り体操	福島市松川工業団地第二応急仮設住宅談話室	第2月曜日 午前 第4金曜日
いきいきサロン	福島市旧松川小学校応急仮設住宅談話室	月2回随時開催
お茶べり会	相馬市大野台第6応急仮設住宅集会所	毎週月曜日午前
お茶べり会	伊達市伏黒応急仮設住宅談話室	毎週水曜日午前
国見町大木戸サロン	国見町大木戸仮設住宅集会所(2-4号室)	毎週木曜日午後
国見町上野台サロン	国見町上野台仮設住宅談話室	毎週水曜日午後
お茶べり会	吉倉公務員宿舎1号棟集会所(303号室)	毎週火・木曜日午前
いきいき健康サロン	蓬萊県営住宅14号棟集会所	第2・4水曜日
お茶べり会	NTT大森住宅2号棟集会所(A-301号室)	毎週火曜日午前

※実施日が変更になる場合もありますので、借り上げ住宅等にお住まいの方で新たに参加を希望される場合は事前に健康福祉課までご連絡ください。

○お問い合わせ 健康福祉課健康係 (☎024-562-4224)

10/28

松川第1仮設住宅に

「サポートセンターあぶまっぺ」が開所



▲開所式で行なわれたテープカットのようす

ができる交流サロン「までい」も備えられています。また、施設の管理は社会医療法人秀公会が手がけ、スタッフもいたてクリニックの職員が中心となっています。

開所式では村長、副議長に続き秀公会の寺島長司(たけし)事務局長も「いたてクリニッ

「サポートセンターあぶまっぺ」が松川第1仮設住宅に開所し、開所式が行われました。

「あぶまっぺ」は、県の事業により県内17カ所に作られたサポートセンターの一つで、体操や個別リハビリなど機能回復のためのデイサービスを受けられることができるほか、誰でも気軽に集まること

クの職員も退職せずに頑張ってきました。この施設を互いの健康を確かめ合う場にしていただければとあいさつしました。「あぶまっぺ」の利用時間は、月・火・木・金曜日の午前8時30分から午後5時30分まで、交流サロンが午前8時から午後8時までとなっています。また、交

▲あぶまっぺ内で行われている介護予防教室のようす



流サロンでは、水・土曜日の午前10時・午後2時ごろから体操を中心とした介護予防教室も開催されます。「サポートセンターあぶまっぺ」のご利用に関しては(☎024-573-2153)までお問い合わせください。

11/17

村とNPOほうらいがいきいき健康講座を開催

村と特定非営利活動法人NPOほうらいが協力し、「あぶくま茶屋」(福島市松川町船場)を会場に健康教室を開催しました。

教室では、福島県立医科大学の渡辺毅教授が「新たな国民病慢性腎臓病とは？」と題し、村の仮設住宅入居者や蓬萊・松川に住む高齢者ら約30人を前に慢性腎臓病や糖尿病を放置した場合の危険性について講演しました。

講演終了後には、愚真会の手打ちそばが振る舞われ、参加者のお腹を満たしていました。



▲健康講座のようす

11/9 中学生が福島大学で特別授業

福島大学で飯館中学校の生徒が特別授業を行いました。授業は、この8月に「未来への翼第1回・持続可能な社会研修ツアー」でドイツへの研修に参加した西川茜衣梨さん、高橋芳仁さん、佐藤奨悟さんの3人が研修の内容を報告し、質問を受ける形式で行われました。3人は、講義室に集まった350人ほどの大学生を前に、再生可能エネルギーの話を中心にドイツの文化など研修で体験したことを報告しました。



▲特別授業のようす (写真提供: サガデザインシーズ)



▲学内見学の様ようす

11/9 飯館中学校 福島大学一日体験入学

講義室で特別授業が行われた同日、飯館中学校3年生を対象にした福島大学の一日体験入学が行われ、中学3年生53人が参加しました。

中学生たちは、大学で行われている講義に参加し、午後は大学生の案内を受けながら学内を見学しました。

生徒らは「講義が難しかった」「学食がおいしかった」等の感想を述べていました。1日だけの大学生生活は生徒たちにとっても得ることが多かったようです。

子育て相談室

— お気軽にご相談ください —

避難校舎 3

子どもたちに、避難校舎での生活や学習の状態をどう考えているかと尋ねてみますと、明瞭な答えは返ってきません。それは、子どもたちが自分たちなりに悩んでおり、さまざまな思惑で表現できないからだと思います。だからこそ、学校と家庭は、容易に発言できない子どもたちの願いを理解し、積極的に応えていかなければならないと考えます。

飯館村が計画的避難区域に指定された機会に、改めて、学校も家庭も、子どもをどんな子どもに育てようとしているのか、将来どんな職業に就かせたいと願うのか、そのために幼稚園や学校のシステムや環境をどう整え直すのかなど、子どもの学びや生存の欲求に応えるための方策を真剣に問い直すことが必然のように思われます。

その結果、明確になるのは、幼稚園や学校のあり方に対する家庭や学校としての責任を感じることであるに違いありません。責任とは、まずは飯館村の避難校舎を次の段階でどのようにするか、学校教育をどう充実させるかなどについて、村民一人ひとりが、自分或いは自分の子どもものこととして、心に思い描き、機会をとらえて表現することであると信じます。

飯館中学校スクールカウンセラー
臨床心理士
海野 和夫

○ 教育相談は飯館中学校 (☎024-566-3100、3118) へ電話でお申込みください。

11/13

『避難生活2年以内が限界』が6割超 『健康状態の悪化』も60%

避難生活に関する実態調査中間報告まとめ



村が行った飯館村民の避難生活に関する実態調査の中間集計の結果がこのほどまとまり、経済面で考えた時、今の状態をあとどれくらい続けられるかという質問に対し、2年以内と答えた人の割合が6割を超え、健康状態の悪化の割合が60%を超え、健康状態の悪化を訴える割合が60・0%と、慣れない環境での暮らしに、体調を崩す村民が多いことが明らかになりました。

この調査は避難中の2、708世帯を対象に村が行ったもので、今回の中間集計は10月23日までに回答のあった1、738世帯分、率にして全体の64・2%分をまとめたものです。調査は、家族構成や仕事・収入の状況、健康状態

態についてなど31項目の質問に対し、それぞれ当てはまるものを選択する方式で行われました。集計では、被災後に家族が別々に暮らすようになったとする回答が50・1%にのぼるなど、あらためて家族が散り散りに生活している実態が浮き彫りになったほか、健康状態の悪化を訴える回答が60・0%と、慣れない環境での暮らしに、体調を崩す村民が多いことが明らかになりました。

また、家計についての質問では、避難前と比較して収入が減ったとする回答が48・9%、出費は避難前より増えたとする

回答が79・6%、さらには、今の経済状態でのぐらゐ避難生活を続けられるかという質問には、半年から2年未満とする回答の合計が全体の66・3%を占めるなど、6割を超える村民が長期間の避難は難しいと考えていることがわかりました。

このほか自由回答では行政からの速やかな情報提供を求める声や現在の住まいの改善を求める声、補償問題に関する内容など、生活に密着した内容の要望や意見のほか、今後の行政のすすめ方に対する提案などが数多く寄せられました。

この調査は年末には最終集計が出される予定となっており、村ではこの調査結果を今後の行政に反映させることとしています。

なお、今回の中間集計の報告書は12月上旬に全戸に配布しています。

11/4 11/18 11/28 いいたて復興計画村民会議が開催されています

村では、村議員、村民の代表、村職員らで構成する「いいたて復興計画村民会議」に村の復興計画に関する基本理念、復興計画の策定について諮問しています。

「いいたて復興計画村民会議」では、「健康・リスクコミュニケーション」「教育」「除染」「仕事」の4つの検討部会を立ち上げ、除染の方法や基準、リスクコミュニケーションの方法など、村や村民が今抱えている課題を整理し、復興への基本方針や、復興に必要な施策・事業案などを検討部会毎にまとめています。

全体会議では村民の意見を踏まえ、専門家からのアドバイスをいただきながら計画を策定しています。計画は12月中にまとめられ村に答申される予定です。

会議で答申された計画は、村の復興計画の基となる予定です。

会議で答申された計画は、村の復興計画の基となる予定です。



▲復興会議のようす (写真は18日の全体会)

平成24年度 飯館村職員採用候補者試験

次の内容で平成24年度飯館村職員採用候補者試験を行います。

採用職種	大学卒程度（一般事務）
採用人数	若干名
受験資格	昭和41年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた者（学歴は問いません） ただし、次の各号のいずれかに該当する者は、受験できません。 (1)日本の国籍を有しない者 (2)成年被後見人又は被保佐人 (3)禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、又はその執行を受けることがなくなるまでの者 (4)飯館村職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者 (5)日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
試験方法及び内容	(1)第1次試験 ①教養試験……職員として必要な一般知識及び知能について、択一式による筆記試験を行います。 (2)第2次試験 第1次試験合格者に対して、個別面接及び小論文等による試験を行います。
資格審査	第1次試験合格者について、受験資格があるかどうか、申込書に記載されていることが正しいかどうかについて調査します。
試験の期日・場所及び発表	第1次試験 とき 平成24年1月15日(日) 受付9:15～9:45 教養試験10:00～12:00 ところ 飯館村役場飯野出張所 福島市飯野町後川10番地の2 (☎024-562-4200) 発表 平成24年1月下旬に飯館村役場飯野出張所前掲示場に受験番号を掲示するほか合否について通知します。 第2次試験 平成24年2月中旬(第1次試験合格者へ通知します。)
合格者の採用	(1)合格者は採用候補者名簿に記載され、成績順に村長が欠員状況等に応じて採用者を決定します。この採用候補者名簿の有効期間は原則として1年間です。 (2)初任給は、飯館村の給料表によりますが、このほか通勤手当、超過勤務手当、寒冷地手当、期末手当、勤勉手当などが、それぞれの給付要件に応じて支給されます。
受験手続	(1)申込用紙の請求 申込用紙は飯館村役場飯野出張所総務課で交付。郵便で申込用紙を請求する場合は封筒の表に「大学卒程度試験申込用紙請求」と朱書きし、80円切手をはった宛先明記の返信用封筒を必ず同封してください。 (2)申込の方法 ①申込用紙に必要事項を記入して、飯館村役場飯野出張所総務課に提出。申込書を郵送する場合は、80円切手をはった自分宛の封筒を同封し、その表に「大学卒程度試験申込」と朱書きして送付してください。 ②受験票を受領したときは、最近6ヵ月以内に撮影した本人の写真（上半身、脱帽、正面向き、縦6cm×横4.5cm）1枚を写真欄にはって受験当日に必ず持参してください。 （受験票がない場合、又は受験票に写真を貼っていない場合は、受験できません。）
受付期間	平成23年11月21日(月) から同年12月26日(金) まで (執務時間中に限ります。午前8時30分から午後5時まで) ※郵便による申込書提出の場合は、同12月22日(木) までの消印有効
お問合わせ	飯館村役場飯野出張所総務課 〒960-1301 福島県福島市飯野町後川10番地の2 (☎024-562-4200) ホームページにも案内が掲載されています。URL http://www.vill.iitate.fukushima.jp/



▲演奏のようす

「朝市に来たお客さんとの交流を楽しみたい」と、人と人とのつながりに感動した」と、催しの感想を話しました。

このほか、行政区によるわら細工の実演指導や、村の現状を知ってもらおう発表も行われました。佐藤公一区長は、「朝市に来たお客さんとの交流を楽しみたい」と、人と人とのつながりに感動した」と、催しの感想を話しました。

「虎捕太鼓」が東京都内で演奏され、会場を訪れた多くの来場者が勇壮な太鼓を堪能しました。今回の虎捕太鼓は、昨年まで村内で行われていた「まていな休日」ツアーに参加し、佐須行政区とつながりのあった安穩（あんのん）朝市（中川 誼美代表）の方々が行政

11/19～11/20
「虎捕太鼓」を
築地朝市で演奏

区在住民を招待して行われたものです。太鼓は、19日に銀座文祥堂2階ホールで新潟県佐渡市の重要無形文化財「文弥人形」公演の特別企画として、翌20日には築地本願寺境内で行われている朝市でそれぞれ演奏されました。

このほか、行政区によるわら細工の実演指導や、村の現状を知ってもらおう発表も行われました。佐藤公一区長は、「朝市に来たお客さんとの交流を楽しみたい」と、人と人とのつながりに感動した」と、催しの感想を話しました。

● 平成23年11月20日執行

福島県議会議員一般選挙投票結果

南相馬市相馬郡飯館村選挙区	
投票総数 2,280 票（飯館村開票区）	
（有効投票数2,239票、無効39票、不受理2票）	
渡部 いっぷ	314票
太田 光秋	1,650票
高野 みつじ	275票

当日の投票を以下の場所で実施しました。
飯館村役場飯野出張所
福島県青少年会館

期日前投票を以下の場所で実施しました。
11/11～19飯館村役場飯野出張所
11/12伊達市伏黒応急仮設住宅集会所
11/14相馬市大野台第六応急仮設住宅集会所
11/16福島市松川工業団地第一応急仮設住宅集会所
11/18、19福島県青少年会館

年代別有権者数・投票者数・投票率

年齢	投票日当日有権者数(人)			投票者数(人)			投票率(%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
20代	356	263	619	56	48	104	15.73	18.25	16.80
30代	336	238	574	84	75	159	25.00	31.51	27.70
40代	318	288	606	107	121	228	33.65	42.01	37.62
50代	590	493	1,083	271	263	534	45.93	53.35	49.31
60代	460	371	831	270	241	511	58.70	64.96	61.49
70代	376	473	849	223	265	488	59.31	56.03	57.48
80以上	236	476	712	114	142	256	48.31	29.83	35.96
計	2,672	2,602	5,274	1,125	1,155	2,280	42.10	44.39	43.23